

令和4年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 堺市上下水道局	団体区分 (混成の場合は複数☑) <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 健康増進事業と上下水道事業が連携した新たな広報の取組 ～市民の健康を守る一助はマンホールにあり!?～	
責任者 (実際に広報に取り組んだチームの代表者) 氏名：松下 幸治 所属：経営企画室 電話：072-250-9208 E-mail： jougekiki@city.sakai.lg.jp	
担当チームの構成 (外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい) 企画・実施：市職員 (堺市上下水道局経営企画室3名、健康福祉局長寿支援課3名) 協力：堺観光コンベンション協会、堺 アルフォンス・ミュシャ館、堺東商店街	
取組のポイント (一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい) <ul style="list-style-type: none"> ・市内の健康増進ワーキンググループで企画した 高齢者の健康増進事業と上下水道事業がコラボレーション したウォーキングイベント ・堺東商店街やさかい利品の杜、堺 アルフォンス・ミュシャ館等を巡るコースを設定し、都市魅力を発信 ・飲料水や携帯トイレの備蓄の重要性など、参加者に 災害への備えを啓発 ・コロナ禍でも、一定期間を設けて自由に歩いていただくことで、密を避けることができる他、友人等を誘い合って参加するなど 社会交流の活性化や運動の習慣化に寄与 ・健康習慣づくりに役立つスマートフォンアプリ「アスマイル」を活用 (ICT 等新技術の活用) 	
アピールポイント <ul style="list-style-type: none"> ・デザインマンホールを入り口に健康増進事業と上下水道事業が連携した「堺まちなかマンホールウォーク」は、65歳以上 (その家族を含む) を対象に新たなアプローチを展開した。全てのコースに参加された方に、上下水道関連の防災グッズを贈呈 (抽選) ・ウォークラリーでは、堺市上下水道事業ゆかりのスポットを巡るウォーキングコース (約3.8km) を設定し、健康増進を図りながら上下水道事業に興味を持ってもらう企画とした。アスマイルのGPS機能を活用することで、ウォーキングコースに中継ポイントを設定することが可能となり、ゴールされた方にアスマイルのポイントを付与 → 参加者の増加にも寄与 ※獲得ポイントによって、毎週・毎月の抽選でコーヒーや電子マネーなどが当選 ・堺 アルフォンス・ミュシャ館や堺東商店街から 「人を呼び込む機会を創出してくれてありがたい」といった感謝の声をはじめ、参加者アンケートでは「これを機会に歩くようになった」「デザインマンホールを初めて知った」「次回の企画を期待している」等の高評価を獲得した。 ・健康福祉部局との連携やICT等の活用で ゼロ予算で実施でき、今後も効果的な取組を継続することが可能 	
要したコスト ●下水道事業会計からの支出なし	

取組の概要

堺まちなかマンホールウォーク

開催：令和4年6月21日から7月21日まで（約1か月間）

実施主体：健康福祉局（主催）、上下水道局（共催）

概要：堺 アルフォンス・ミュシャ館をスタート地点として、市内3か所に点在するデザインマンホール蓋を巡る3種類のウォーキングコースを設定（参加者にスタンプを押印）。全コースに参加した方に、上下水道関連の防災グッズ（備蓄水と携帯トイレのセット）等を抽選で贈呈。上下水道局が発信したい自助・共助による災害への備えについて啓発。

参加者：279人（平均年齢71.7歳、最高齢89歳）

主なアンケート結果：イベントをきっかけに歩くようになった（42%）
これからも歩きたい（99%）

デザインマンホールを設置している3つのコースをウォーキングノ

まちなかコース

- ・ミュシャ館から堺東駅を巡るコース(約1.5km)
- ・堺東商店街に、ミュシャ作品などのマンホールを設置
- ・堺東観光案内所では、ミュシャのマンホールカードを配布

古墳コース

- ・ミュシャ館から三国ヶ丘駅を巡るコース(約2km)
- ・駅周辺に、世界文化遺産登録記念マンホールを設置

さかい利品の杜コース

- ・ミュシャ館からさかい利品の杜を巡るコース(約3.1km)
- ・さかい利品の杜では、市政100周年記念をデザインしたマンホールカードを配布




スタート地点での受付と啓発コーナー

健活アプリ「アスマイル」ウォークラリー

開催：令和4年10月26日（水）開始

概要：アスマイルに新たに付加されたGPS機能を活用して、上下水道事業ゆかりのスポットを巡る約3.8kmのウォーキングコースを設定。設定された中継ポイントを経由してゴールすれば、アスマイルのポイントを獲得。

参加者（11月末時点）：287人

★堺市水道事業発祥の地コース★



実施体制の構築

副市長をトップとする「高齢者健康増進施策調整ワーキンググループ」において、上下水道局からデザインマンホールを活用したウォーキングイベントを提案し、高齢者の健康増進（介護予防）と上下水道事業との連携による「堺まちなかマンホールウォーク」が実現した。

今回の企画は、庁内で「効率的・効果的な事業実施」「商店街や文化施設を巻き込んだ都市魅力の発信」「ICT等の新技術の活用」「ゼロ予算」等が評価され、その結果、健康増進に繋がる“歩く”と上下水道事業の“資産”をフルに活用したウォークラリーを企画することに至った。

成果

他部局との連携

- ・観光や都市魅力の発信にデザインマンホールを活用する事例が多いなか、デザインマンホールを入り口に高齢者の健康増進を図るといった新たなアプローチに挑戦し、継続・拡充していく価値を見いだせたことは他団体にとっても参考にしやすく、波及する可能性がある。
- ・健康福祉局のほか、マンホール蓋のデザインとなった作品を所蔵・展示している「堺 アルフォンス・ミュシャ館」を所管する文化課や、デザインマンホール蓋を設置している堺東商店街を所管している地域産業課とも連携したことで、より効果的で持続可能な企画にすることができた。

下水道事業への関心度の向上

- ・イベント参加者からは、「デザインマンホールを初めて知った」「下水道の役割や災害への備えについて考える機会になった」などの感想をいただいた。下水道事業への関心度の推移については、毎年度末に実施している市政モニターアンケートにおいて検証する。

ゼロ予算事業の実現

- ・アスマイルを効果的に活用することで、受付や各拠点の説明などイベントに従事する職員は不要であり、また、上下水道事業の資産を有効活用したことでゼロ予算事業を実現した。

商店街や文化観光施設の活性化への寄与

- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館における参加者割引をはじめ、さかい利品の杜や観光案内所におけるマンホールカードの配布、堺東商店街との連携によって、堺のまちを周遊していただく機会を創出した。